

ヨナダー が下米田・牧野の色々な見どころを紹介するよ

馬串 山城に 7 l1

馬串 Щ に山城らしきものがあ 0 た



段丘に接している。 絡に頼るしかなかった。 井の天狗山(愛宕、川辺福島の米田山城を見 てもおかしくない。 地理的位置にある馬串 ることができる。 山城)を見ることができ、 木曽川筋の鳩吹山(土田城)、上流の兼山(金 を形成し、 という美濃帯堆積岩類からなる地層が山塊 まっている。 うな通信連絡網がなく、 中世の山城について、全国的 標高は百五十メー 木曽川 下米田と牧野の間に、 と飛騨川が形成 中世の時代では現代のよ この 山周辺は、 日周辺は、城があっその意味で絶好の 旗か狼煙等視覚連 飛騨川筋では、古 部分を馬串山とい ル程度であるが、 記な関心が高 城があ 心た河岸 馬串

あり、 水がみられる場所である。 ここにコンクリー を歩いていき、突き当りの竹藪の中にある。 中屋敷地名が記載された部分から、 城の西の防御用かと」記載した山裾の右上、 人が語る伝承には、 左写真は、小井戸(コイ 現在も水を汲みあげている。地元の ト製の土管が縦に埋めて この 水を館に居住して ド)と呼ばれる湧 上記地図の あぜ道 山

人が一層の美人になったという。 いた女性が顔を洗う水として利用していたため、 うことになるであろ この 周辺に館があ 美

ればこの水を使用して